

井上製麵

井上製麵 有限公司

DX戦略



INOUE 井上製麵
NOODLE 1873

トツプメツセージ



当社は、150年以上の歴史をもつ機械式製麺の伝統を守りつつ、高付加価値の製品を国内及び世界に届けるため、デジタル技術を活用し、情報発信、業務効率化、従業員育成に取り組めます。

伝統を守りながら、新たなテクノロジーを取り入れ、地域の未来を創造するため、DXと地域貢献に取り組んでまいります。

令和8年2月1日

代表取締役 井上 義博

DXビジョン



150年以上受け継がれてきた機械式製麺の伝統を未来へとつなぐため、デジタル技術を積極的に活用し、ものづくり・働き方・顧客体験を進化させる。

- 1 伝統 × デジタルの融合**
受け継がれてきた技と品質をデータ化・可視化し、次世代へ確実に継承する。
- 2 国内外に向けた情報発信力と市場価値創出の強化**
デジタルを活用した情報発信を通じて、国内外へ新たな市場価値を創出する。
- 3 デジタル活用に前向きに取り組める職場文化の醸成**
従業員が基本的なデジタルツールを使いこなし、業務の改善につなげることができる組織をつくる。

DX戦略



① 伝統 × デジタルの融合

- ・製造技術のデジタル化
- ・生產品質の見える化及びデータ活用

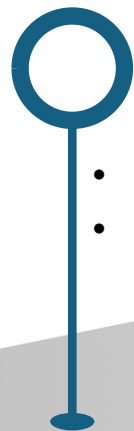
② 国内外に向けた情報発信力と市場価値創出の強化

- ・公式サイトが多言語対応
- ・SNS等を活用したブランド価値向上のための情報発信

③ デジタル活用に前向きに取り組める職場文化の醸成

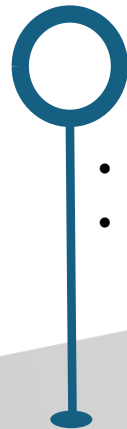
- ・ボトムアップ型の業務改善
- ・社内ITリテラシ向上のための取組

DX推進ロードマップ



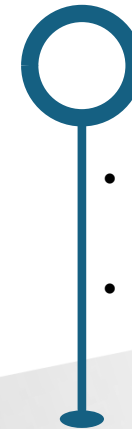
現在～1年後

- 製造情報のデータ入力
- Instagramでの情報発信



3年後

- 製造マニュアルの準備
- HPの多言語対応(英語)



5年後

- 製造マニュアルを活用した人材育成
- HPの多言語対応(中国語)

DX戦略



①伝統 × デジタルの融合

取組	現状	具体策
製造技術のデジタル化	<ul style="list-style-type: none">職人から職人へ実践を通じたOJTにて技術継承を行っている職人の感覚や勘などを口頭で伝えている	<ul style="list-style-type: none">製造マニュアルの整備製造工程の動画撮影
生產品質の見える化及びデータ活用	<ul style="list-style-type: none">温度、湿度等の品質管理上必要な情報を紙ベースで管理しており、データ活用が難しい製造中のデータ入力方法について検討を行っている	<ul style="list-style-type: none">スマホやタブレット等を活用したデータでの入力 (長期的には音声での入力を検討)

DX戦略



②国内外に向けた情報発信力と市場価値創出の強化

取組	現状	具体策
公式サイトが多言語対応	<ul style="list-style-type: none">HPの仕様は日本語対応のみとなっている国内向けの販売だけでなく、海外向けの販売について取組強化を検討している	<ul style="list-style-type: none">英語対応のHP作成中国語対応のHP作成
SNS等を活用したブランド価値向上のための情報発信	<ul style="list-style-type: none">Instagramにて情報発信行っている5年間で30投稿	<ul style="list-style-type: none">商品情報や新情報の定期的な発信

DX戦略



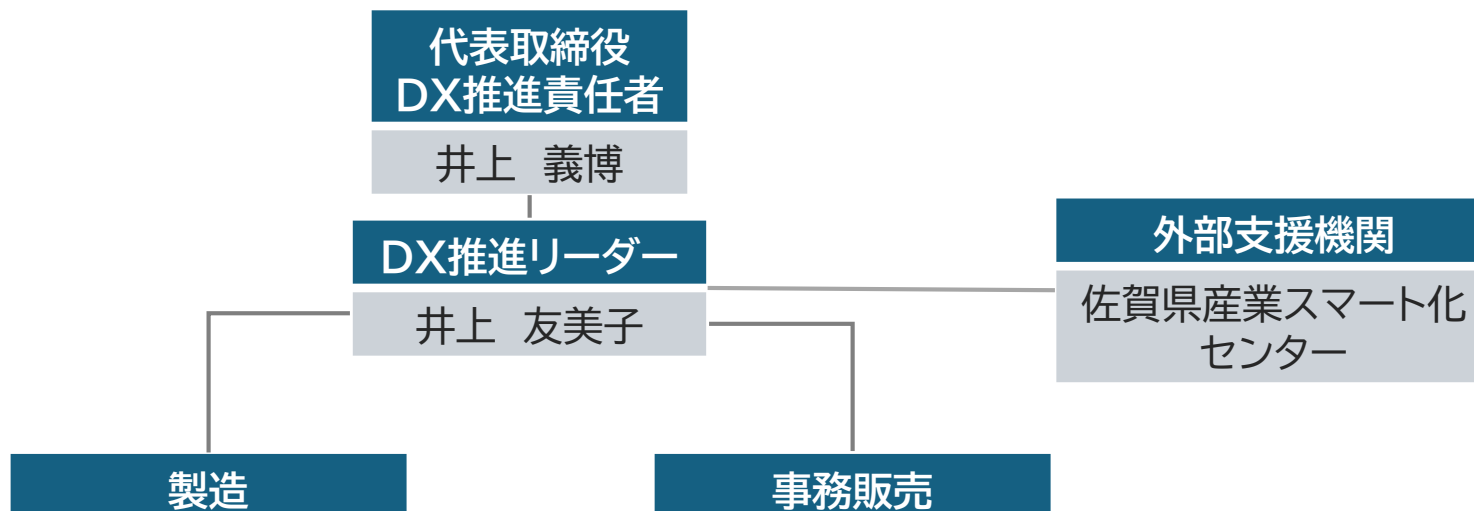
③デジタル活用に前向きに取り組める職場文化の醸成

取組	現状	具体策
日報の電子化	<ul style="list-style-type: none">日々の日報を手書きしている従業員各自が入力しているが、社内で共有ができていない	<ul style="list-style-type: none">音声、文字起こし機能を活用し、日報の作成終礼時に各自、口頭にて報告を行い、データとして蓄積行う
社内ITリテラシ向上のための取組	<ul style="list-style-type: none">社長がメインでセミナー等に参加されている	<ul style="list-style-type: none">従業員様も含め、社外での研修・セミナー参加

DX推進体制



- DX推進責任者:代表取締役 井上 義博
DX全体の方針決定、投資判断、社内へ情報の共有及び浸透を行う
- DX推進リーダー:井上 友美子
DXの企画立案・実行管理・外部連携を担い、現場との橋渡し役として推進をリードする
- 外部支援機関:佐賀県産業スマート化センター
デジタル化に関する専門的知見の提供、技術選定の助言、伴走支援を通じて、自社のDX推進体制を補完し、変革の加速を支える



DX戦略_成果指標



DX戦略	成果指標	3年後	5年後
①伝統 × デジタルの融合	製造マニュアル作成した工程の割合	30%	50%
	製造工程の動画作成数	10件	20件
	紙の削減率(製造データ)(2025年比)	50%削減	100%削減
②国内外に向けた情報発信力と市場価値創出の強化	HPの複数言語対応数(2025年比)	1言語増加	2言語増加
	Instagram投稿数(年間)	10件	20件
③デジタル活用に前向きに取り組める職場文化の醸成	紙の削減率(日報)(2025年比)	50%削減	100%削減
	DXに関するセミナー参加人数(年間)	5人	10人

セキュリティに関して



情報セキュリティ基本方針

有限会社井上製麺（以下、当社）は、製造に関する技術情報、顧客情報、取引先情報従業員情報などの情報資産を重要な経営資源と認識し、事故・災害・犯罪・サイバー攻撃などの脅威から守ることを社会的責任と考えます。当社は以下の方針に基づき、全社で情報セキュリティの確保に取り組みます。

1. 経営者の責任

経営者が情報セキュリティの重要性を認識し、組織的かつ継続的に改善・向上に努めます。

2. 社内体制の整備

情報セキュリティ管理責任者を設置し、社内規程を明文化し、全従業員に周知します。

3. 従業員の取組み

情報セキュリティ教育のために必要とされる知識、技術を習得し、適切な取り扱いを徹底します。

4. 法令・契約の遵守

情報セキュリティに関わる法令、規制、規範、契約上の義務を遵守するとともに、お客様の期待に応えます。

5. 情報資産の保護

製造レシピ、品質管理データ、顧客情報などを適切に分類し、アクセス制御・暗号化・バックアップを実施します。

6. サイバー攻撃・事故への対応

ウイルス感染や不正アクセスなどのインシデント発生時に迅速に対応し、再発防止策を講じます。

7. 継続的改善

情報セキュリティ対策を定期的に見直し、技術の進化や新たな脅威に対応します。